デザイン事務所と町工場の共同開発・「FACTORY ROBO」シリーズ
――幸せの連鎖による快進撃を続ける株式会社浜野製作所

手のひらサイズのロボットを組み立てる楽しさを提供

「FACTORY ROBO」シリーズは、難しい工程や工具は必要なく、誰でも簡単に板金加工を楽しめるDIYキットで2016年10月に第1弾を発売した。

これは東京都墨田区中小企業の雄・株式会社浜野製作所と台東区のデザイン事務所・h concept（アッシュコンセプト）の共同開発である。1 枚の金属板からパーツを抜き出して組み立てる、手のひらサイズのロボットである。

墨田区の地域ブランド戦略「ものづくりコラボレーション事業」（世界的に活躍するデザイナーなどクリエイター（コラボレーター）とチームを組んで、新商品開発にチャレンジするもの）を通して、2015年からh concept のデザイナー・名児耶氏と株式会社浜野製作所が開発を進めてきた。

素材はステンレス製だ。部品を切り取り、折り曲げ、接合すれば完成する。特製の組み立て専用治具が同梱されているため、DIY初心者でも手軽に板金加工を楽しむことができる。組み立て後の製品サイズは幅約60mm×奥行き44mm×高さ100mmで、重さは約68ｇである。組み立て方はYouTubeで動画公開されている。

ステンレス製の「FACTORY ROBO」シリーズ第１弾

浜野製作所に展示されている「FACTORY ROBO」シリーズ第１弾

シリーズ第２弾はより小さく軽い「FACTORY ROBO DOG」

そして 2018 年５月には「FACTORY ROBO」シリーズ第２弾として、手作り犬型ロボットキット「FACTORY ROBO DOG」を発売した。

「FACTORY ROBO」シリーズ第２弾の「FACTORY ROBO DOG」

組み立て後の製品サイズは幅約 20㎜×奥行き 65㎜×高さ 45㎜で重さは約 22g。第１弾よりさらにサイズは小さく軽い。第１弾はネット販売等で累計 2000 個以上を販売し、満を持しての第２弾リリースとなった。

株式会社浜野製作所の経営理念に込められた思い

株式会社浜野製作所は墨田区に拠点を構える金属加工メーカーである。創業は 1968 年、株式会社設立は 1978 年だ。代表取締役社長の浜野慶一氏は父から事業承継をした 2 代目経営者である。

同社にとって大きな転機となったのは、浜野社長が２代目として経営を引き継いだ後の 2000 年、近所からのもらい火で、工場が全焼してしまったという災害に見舞われたことだった。

火事の後、地域の人々をはじめ、様々なステークホルダーに助けられた経験から、同社は、「『おもてなしの心』を常に持って、お客様・スタッフ・地域に感謝・還元し、夢（自己実現）と希望と誇りを持った活力ある企業を目指そう！」という経営理念を掲げている。

株式会社浜野製作所　代表取締役社長　浜野慶一氏

そのため、同社は積極的に地域資源を活用し、産学官金連携を図ってものづくりを進めてきたことで有名な、日本では屈指の中小企業である。

例えば同社が取り組んできたことで成果を上げてきたプロジェクトのひとつに、深海探査機「江戸っ子１号」がある。

「江戸っ子１号」とは、水深 8000m という深海まで潜水できる小型の無人深海探査機で、海底で泥や生物を採取したり、3Dビデオカメラで 3D映像を撮影したりできる機能を持つ。同社を主とした墨田区、葛飾区、大田区の中小企業が中心となり、芝浦工業大学、東京海洋大学、海洋研究開発機構（JAMSTEC）、新江ノ島水族館、株式会社ソニーの有志、東京東信用金庫等により、2013 年に開発された。円高や不況等厳しい経営環境に苦しむ中小企業が、製品開発力、市場開拓力を身につけて、「下請け体質からの脱却」を図ることをプロジェクトの目的として掲げた。2014年7月、同プロジェクトは内閣総理大臣

賞（第７回海洋立国推進功労者表彰）を受賞している。

江戸っ子１号プロジェクト

写真提供：江戸っ子１号プロジェクト推進委員会

また、同社の近年の取り組みとしては、「Garage Sumida」がある。2014年オープン、2017年リニューアルオープンした同社が運営するものづくりでの起業を支援するための施設である。オフィス利用、登記所にすることも可能である。定期的にイベントやワークショップを開催し、ものづくりに関心を持つ人が気軽に参加できるように、バーや読書ができるフリースペースも備えた交流の場である。

Garage Sumidaはものづくりで起業を支援し、交流の場としても活用されている

拠点や設備面の提供、技術面の指導などは同社が担い、また、投資など資金面の支援は資本参加する株式会社リバネス（東京都新宿区）の子会社株式会社グローカリンクが行う。

このように様々なステークホルダーとともにイノベーションを起こしてきた同社だが、「FACTORY ROBO」シリーズは、深海探査艇やロボットなど様々なものを作ってきた浜野製作所のイメージキャラクターとして生まれた。一枚の金属板から手のひらサイズのロボッ

トを組み立てることで、同社のスタッフも含めたより多くの人に「職人の金属加工技術」を体験してもらい、「ものづくりの楽しさ、大変さ」を知ってもらいたいという想いを込めている。

ション・エイカーは『The Happiness Advantage』(2010) で、人間は成功すると幸せになるのではなく、幸せな人間が成功する、と説いた。つまり、幸せは「成功に先行する」のであり、単なる「成功の結果」ではないと説く。

あらゆるステークホルダーの幸せを追求する経営理念を掲げる同社。幸せの連鎖による快進撃は、これからも続くことだろう。

参考資料：
株式会社浜野製作所　http://hamano-products.co.jp/
江戸っ子１号　http://edokko1.jp/
FACTORY ROBO　KONCENT WEB SHOP　https://koncent.jp/?pid=109639843
FACTORY ROBO DOG KONCENT WEB SHOP　https://koncent.jp/?pid=131403934
【FACTORY ROBO 組立て講座】
https://www.youtube.com/watch?time_continue=4&v=jJvk1NbGh8s
『The Happiness Advantage』(2011) Shawn Achor, Virgin Books
（2018 年 8 月 9 日確認。）

著者プロフィール：
奥山　睦（Mutsumi Okuyama）

株式会社ウイル　代表取締役
静岡大学大学院総合科学技術研究科客員教授
日本女子大学家政経済学科非常勤講師
著書に『下町ボブスレー』、『「折れない」中小企業の作り方』、『職人の作り方』、『メイド・イン・大田区』など多数。
日本全国の町工場へのフィールドワークをもとに、中小企業研究を行っている。
http://www.officewill.co.jp